

オペラ作品 Opere teatrali

オペラ作品カタログの「番号の色分け」との「網掛け部分」について

ベルガモ劇場が自筆譜を起こして上演した作品(6・14・35・43・48・49)

クリティカル版が出版されている作品(24・47・52・53・55・58・62・64・66・69・70)

レンタル(貸出)となっているクリティカル版のある作品(45・50・63)

- 1 - 『ピグマリオーネ Il Pigmaliione』 1幕 ドランマ (作曲: 1816年、ポローニャ)
台本: アントーニオ・ソグラフィー Antonio Sografi
初演: 1960年10月13日遺作上演、ドニゼッティ劇場 (ベルガモ)
自筆譜: パリの国立音楽院図書館所蔵
- 2 - 『オリンピーアデ Olimpiade』 3(?)幕 ドランマ (作曲: 1817年、ポローニャ)
台本: ピエートロ・メタスターズィオ Pietro Metastasio (?)
初演: 未上演
自筆譜: 喪失。
一つのシェーナと一つの二重唱のみベルガモのドニゼッティ博物館所蔵
- 3 - 『アキレスの怒り L' Ira di Achille』 1幕 ドランマ (作曲: 1817年、ポローニャ)
台本: 不詳
初演: 未上演
自筆譜: パリの国立音楽院図書館所蔵
- 4 - 『ブルゴーニュのエンリーコ Enrico di Borgogna』 2幕 メロドラマ[・セミセーリオ]
台本: バルトロメオ・メレッリ Bartolomeo Merelli
初演: 1818年11月14日、サン・ルーカ劇場 (ヴェネツィア)
自筆譜: 喪失
- 5 - 『狂気 Una follia』 1幕 ファルサ
台本: バルトロメオ・メレッリ Bartolomeo Merelli
初演: 1818年12月15日、サン・ルーカ劇場 (ヴェネツィア)
自筆譜: 喪失
- 6 - 『ピエートロ [ピョートル] 大帝、ロシアのツァーリ Pietro il Grande, Ksar delle Russie]
もしくは『リヴォニアの大工 Il Falegname di Livonia』 * 2幕 メロドラマ・ブルレスコ
台本: ゲラルド・ベヴィラックワ・アルドヴランディーニ Gherardo Bevilacqua
Aldovrandini
初演: 1819年12月26日、サン・サミュエル劇場 (ヴェネツィア)
自筆譜: ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 7 - 『田舎の結婚式 Le Nozze in villa』 1幕 メロドラマ・ブッフオ
台本: バルトロメオ・メレッリ Bartolomeo Merelli
初演: 1820年-1821年のカーニヴァルのシーズン、ヴェッキオ劇場 (マントヴァ)
自筆譜: なし。写譜はパリの国立音楽院の図書館所蔵
- 8 - 『グラナダのゾライデ Zoraide di Granata』 2幕 メロドラマ・エローイコ [英雄オペラ]
台本: バルトロメオ・メレッリ Bartolomeo Merelli
後にヤコポ・フェッレッティ Jacopo Ferretti によって作り直される。
初演: 1822年1月28日、アルジェンティーナ劇場 (ローマ)
自筆譜: ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 9 - 『ジプシー女 La Zingara』 2幕 メロドラマ[・セミセーリオ]
台本: アンドレーア・レオーネ・トットラ Andrea Leone Tottola
初演: 1822年5月12日、ヌオーヴォ劇場 (ナポリ)
自筆譜: なし。写譜はナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 10 - 『匿名の手紙 La Lettera anonima』 1幕 ファルサ
台本: ジュージョ・ジェノイーノ Giulio Genoino
初演: 1822年6月29日、フォンド劇場 (ナポリ)
自筆譜: ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵

- 11 - 『キアラとセラフィーナ Chiara e Serafina』もしくは『海賊たち I Pirati』
2幕 メロドラマ・セミセーリオ
台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
初演：1822年10月26日、スカラ座（ミラノ）
自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 12 - 『アルフレード〔アルフレッド〕大王 Alfredo il Grande』 2幕 メロドラマ・セーリオ
台本：アンドレーア・レオーネ・トットラ Andrea Leone Tottola
初演：1823年7月2日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 13 - 『幸運なごまかし Il Fortunato inganno』 2幕 ドランマ・ジョコーゾ
台本：アンドレーア・レオーネ・トットラ Andrea Leone Tottola
初演：1823年9月3日、ヌオーヴォ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 14 - 『当惑した家庭教師 L' Ajo nell' imbarazzo』もしくは『ドン・グレゴリオ Don Gregorio』*
2幕 メロドラマ・ジョコーゾ
台本：ヤコポ・フェツレッティ Jacopo Ferretti
初演：1824年2月4日、ヴァッレ劇場（ローマ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 15 - 『リヴァプールのエミーリア Emilia di Liverpool』もしくは『エミーリア Emilia』
もしくは『リヴァプールの隠者の住み処 L' Eremitaggio di Liverpool』
2幕 ドランマ・セミセーリオ
台本：ジュゼッペ・ケッケリーニ Giuseppe Checcherini
初演：1824年7月28日、ヌオーヴォ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 16 - 『グラナダのアラホール Alahor in Granata』 2幕 ドランマ・セーリオ
台本：M.A. [多くの作家 Molti Autori?]
初演：1826年1月7日、カロリーノ劇場（パレルモ）
自筆譜：なし。写譜はボストン大学図書館所蔵
- 17 - 『身体障害者たちの城 Il Castello degli invalidi』 1幕 ファルサ
自筆譜：喪失。この作品に関してはタイトルのみ知られている。
- 18 - 『エルヴィーダ Elvida』 1幕 ドランマ・セーリオ
台本：ジョヴァンニ・フェデリーコ・シュミット Giovanni Federico Schmidt
初演：1826年7月6日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 19 - 『ヴェルジ家のガブリエッラ Gabriella di Vergy』 2幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
（作曲：1826年、ナポリ）
台本：アンドレーア・レオーネ・トットラ Andrea Leone Tottola
初演：1869年11月29日遺作上演、サン・カルロ劇場（ナポリ）
何者かの手が加えられ、〔2幕を〕3幕に直しての上演であった。
自筆譜：ベルガモのドニゼッティ博物館所蔵
- 20 - 『美しい囚われ者 La Bella prigioniera』 1幕 ファルサ
台本：不詳
初演：未上演
自筆譜：ベルガモのドニゼッティ博物館所蔵
歌とピアノ伴奏のための2つの断片的な部分のみ残っている。
- 21 - 『オリーヴォとパスクワーレ Olivo e Pasquale』 2幕 メロドラマ・ジョコーゾ
台本：ヤコポ・フェツレッティ Jacopo Ferretti
初演：1827年1月7日、ヴァッレ劇場（ローマ）
自筆譜：なし。写譜はナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 22 - 『8カ月を2時間で Otto mesi in due ore』もしくは『シベリアへの追放者 Gli Esiliati in Siberia』
3部 メロドラマ・ロマンティコ（メロドラマ・ストーリコ・スペッタコロージョ〔歴史スペクタクル・オペラ〕）
台本：ドメーニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1827年5月13日、ヌオーヴォ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 23 - 『サールダム市の市長 Il Borgomastro di Saardam』 2幕 メロドラマ・ジョコーゾ
台本：ドメーニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1827年8月19日、フォンド劇場（ナポリ）
自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 24 - 『劇場界の都合・不都合 Le Convenienze ed Inconvenienze teatrali』
1幕、その後2幕に分けられる。ファルサ
台本：ガエターノ・ドニゼッティ Gaetano Donizetti
初演：1827年11月21日、ヌオーヴォ劇場（ナポリ）
自筆譜：パリの国立音楽院図書館所蔵

- 25 - 『ローマの追放者 L' Esule di Roma』もしくは『追放された者 Il Proscritto』もしくは『セッティミオ、追放された者 Settimio il Proscritto』
2幕 メロドラマ・エロイコ〔英雄オペラ〕
台本：ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1828年1月1日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 26 - 『ゴルコンダの女王アリーナ Alina regina di Golconda』もしくは『ゴルコンダの女王 La Regina di Golconda』
2幕 メロドラマ〔・ブッフオ〕
台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
初演：1828年5月12日、カルロ・フェリーチェ劇場（ジェノヴァ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 27 - 『カレーのジャンニ Gainni di Calais』 3幕 メロドラマ・セミセーリオ
台本：ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1828年8月2日、フォンド劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 28 - 『カーニヴァルの木曜日 Il Giovedì grasso』もしくは『新しいプルソニャック Il Nuovo Pourceaugnac』
1幕 ファルサ
台本：アンドレーア・レオーネ・トットラ Andrea Leone Tottola あるいは
ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1828年の秋、フォンド劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 29 - 『賤民 Il Paria』 2幕 メロドラマ〔・セーリオ〕
台本：ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1829年1月12日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 30 - 『ケニルワース城のエリザベッタ Elisabetta al castello di Kenilworth』もしくは『ケニルワース城 Il Castello di Kenilworth』 3幕 メロドラマ〔・セーリオ〕
台本：アンドレーア・レオーネ・トットラ Andrea Leone Tottola
初演：1829年7月6日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 31 - 『計画的な狂気 I Pazzi per progetto』 1幕 ファルサ
台本：ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1830年2月6日もしくは7日、フォンド劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 32 - 『大洪水 Il Diluvio universale』 3幕 アツィオーネ・トラージコ=サークラ〔悲劇的聖史劇〕
台本：ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1830年2月28日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 33 - 『ランベルタッツィのイメルダ Imelda de' Lambertazzi』 2幕 メロドラマ・トラージコ
台本：アンドレーア・レオーネ・トットラ Andrea Leone Tottola
初演：1830年8月23日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 34 - 『アンナ・ボレーナ Anna Bolena』 2幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
初演：1830年12月26日、カルカノ劇場（ミラノ）
自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 35 - 『パリのジャンニ Gianni di Parigi』 * 2幕 メロドラマ・コーミコ〔コミック・オペラ〕
（作曲：1831年、ナポリ）
台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
初演：1839年9月10日、スカラ座（ミラノ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 36 - 『フワーのフランチェスカ Francesca di Foix』 1幕 メロドラマ・セミセーリオ
台本：ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1831年5月30日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 37 - 『女流作家と黒い男 La Romanziera e l' uomo nero』 1幕 メロドラマ・ジョコーゾ
台本：ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni
初演：1831年の夏、フォンド劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 38 - 『ファウスタ Fausta』 2幕 メロドラマ〔・セーリオ〕
台本：ドメニコ・ジラルドーニ Domenico Gilardoni および ガエターノ・ドニゼッティ Gaetano Donizetti
初演：1832年1月12日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵

- 39 - 『パリのウーゴ伯爵 Ugo conte di Parigi』 2幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
 初演：1832年3月13日、スカラ座（ミラノ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 40 - 『愛の妙薬 L' Elisir d' amore』 2幕 メロドラマ・ジョコーゾ
 台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
 初演：1832年5月12日、カノッピアーナ劇場（ミラノ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵（第一幕）
 ベルガモのドニゼッティ博物館所蔵（第二幕）
- 41 - 『カスティーリアのサンチャ Sancia di Castiglia』 2幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：ピエートロ・サラティエーノ Pietro Salatino
 初演：1832年11月4日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 42 - 『サン・ドミンゴ島の狂人 Il Furioso all' isola di San Domingo』 3幕 メロドラマ〔・セミセーリオ〕
 台本：ヤコポ・フェツレツティ Jacopo Ferretti
 初演：1833年1月2日、ヴァッレ劇場（ローマ）
 自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 43 - 『エステ家のパルジーナ Parisina d' Este』 もしくは『パルジーナ Parisina』 *
 3幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
 初演：1833年3月17日もしくは18日、ベルゴラ劇場（フィレンツェ）
 自筆譜：ベルガモのドニゼッティ博物館所蔵
- 44 - 『トルクワート・タッソ Torquato Tasso』 3幕 メロドラマ〔・セーリオ〕
 台本：ヤコポ・フェツレツティ Jacopo Ferretti
 初演：1833年9月9日、ヴァッレ劇場（ローマ）
 『ソルデッロ Sordello』というタイトルでも上演される。
 自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 45 - 『ルクレツィア・ボルジア Lucrezia Borgia』 プロローグと2幕 メロドラマ〔・セーリオ〕
 台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
 初演：1833年12月26日、スカラ座（ミラノ）
 検閲の問題のために台本の内容を変更しながら、以下のタイトルでも上演された。
 『フェッラーラのアルフォンソ Alfonso di Ferrara』
 『ロマーノ家のエウストルジャ Eustorgia da Romano』
 『ナポリのジョヴァンナI世 Giovanna I di Napoli』
 『裏切り者の女 La Rinnegata』
 『フォスコ家のエリーザ Elisa da Fosco』
 『グラナダのニツァ Nizza di Granata』
 『ダリンダ Dalinda』
 自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 46 - 『イギリスのロズモンダ Rosmonda d' Inghilterra』 2幕 メロドラマ・セーリオ
 台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
 初演：1834年2月27日、ベルゴラ劇場（フィレンツェ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
 この作品は、ナポリのために『グイエンナのエレオノーラ Eleonora di Gujenna』
 というタイトルに改められ、内容が改訂された。
- 47 - 『マリア・ストゥアルダ Maria Stuarda』 3幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：ジュゼッペ・バルダーリ Giuseppe Bardari
 初演：1834年10月18日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
 しかし『ブオンデルモンテ Buondelmonte』というタイトルで、しかも
 P. サラティエーノによって、台本がとところどころ手直しされての上演であった。
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 48 - 『ヴェルジ家のジェンマ Gemma di Vergy』 * 2幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：エマヌエーレ・ビデーラ Emanuele Bidera
 初演：1834年12月26日、スカラ座（ミラノ）
 自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 49 - 『マリン・ファリエーロ Marin Faliero』 * 3幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：エマヌエーレ・ビデーラ Emanuele Bidera
 初演：1835年3月12日、イタリア歌劇場（パリ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 50 - 『ランメルモールのルチア Lucia di Lammermoor』 プロローグと2幕 ドラマ・トラージコ
 台本：サルヴァトーレ・カンマラーノ Salvatore Cammarano
 初演：1835年9月26日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
 自筆譜：トレッカーニ・デリ・アルフィエーリ図書館所蔵（ミラノ）

- 51 - 『ベリザーリオ Belisario』 3幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：サルヴァトーレ・カンマラーノ Salvatore Cammarano
 初演：1836年2月4日、フェニーチェ劇場（ヴェネツィア）
 自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 52 - 『呼び鈴 Il Campanello』 1幕 ファルサ
 台本：ガエターノ・ドニゼッティ Gaetano Donizetti
 初演：1836年6月6日、ヌオーヴォ劇場（ナポリ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 53 - 『ベトリー Betly』もしくは『スイスの山小屋 La Capanna svizzera』
 1幕 ドランマ・ジョコーゾ（後に2幕に広げられる）
 台本：ガエターノ・ドニゼッティ Gaetano Donizetti
 初演：1836年8月24日、ヌオーヴォ劇場（ナポリ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 54 - 『カレーの包囲 L' Assedio di Calais』 3幕 オペラ・セーリア
 台本：サルヴァトーレ・カンマラーノ Salvatore Cammarano
 初演：1836年11月19日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 55 - 『トロメイ家のピア Pia de' Tolomei』 2幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：サルヴァトーレ・カンマラーノ Salvatore Cammarano
 初演：1837年2月18日、アポッロ劇場（ヴェネツィア）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 56 - 『ロベルト・デヴリュウ Roberto Devereux』もしくは『エッセクス〔エセックス〕伯爵 Il Conte di Essex』
 3幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：サルヴァトーレ・カンマラーノ Salvatore Cammarano
 初演：1837年10月29日、サン・カルロ劇場（ナポリ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 57 - 『ルーデンツ家のマリーア Maria di Rudenz』 3幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕
 台本：サルヴァトーレ・カンマラーノ Salvatore Cammarano
 初演：1838年1月30日、フェニーチェ劇場（ヴェネツィア）
 自筆譜：なし。写譜はフェニーチェ劇場文書館所蔵
- 58 - 『ポリウート Poliuto』 3幕 トラジェディア・リリカ〔叙情悲劇〕（作曲：1838年、ナポリ）
 台本：サルヴァトーレ・カンマラーノ Salvatore Cammarano
 初演：1848年11月30日遺作上演、サン・カルロ劇場（ナポリ）
 自筆譜：ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 59 - 『アルバ公爵 Le Duc d' Albe』 4幕 ドランマ・セーリオ（作曲：1839年にパリで始められたが
 未完成のままにとどまり、マッテオ・サルヴィ Matteo Salvi によって完成される）
 台本：ウージェーヌ・スクリーブ Eugène Scribe およびシャルル・デュヴェイリエー
 Charles Duveyrier（伊訳版：アンジェロ・ザナルディーニ Angelo Zanardini）
 初演：1882年3月22日、イタリア語版での遺作上演、アポッロ劇場（ローマ）
 自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 60 - 『連隊の娘 La Fille du Régiment』 2幕 メロドランマ・コーミコ〔コミック・オペラ〕
 台本：ジュール・アンリー・ド・サン＝ジョルジュ Jules Henry de Saint-Georges,
 ジャン・フランソワ・アルフレード・バイヤール Jean François Alfred Bayard
 （伊訳版：カリスト・バッシ Calisto Bassi）
 初演：1840年2月11日、オペラ・コミック座（パリ）
 自筆譜：なし。写譜はナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 61 - 『殉教者 Les Martyrs』 4幕 ドランマ・セーリオ（オペラ『ポリウート Poliuto』のフランス語改訂版）
 台本：ウージェーヌ・スクリーブ Eugène Scribe（伊訳版：カリスト・バッシ Calisto Bassi）
 初演：1840年4月10日、オペラ座（パリ）
 自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 62 - 『ラ・ファヴォリット La Favorite』 4幕 ドランマ・セーリオ（オリジナルは『ニズィダの天使 L' Ange de Nisida』）
 台本：アルフォンス・ロワイエー Alphonse Royer およびギュスターヴ・ヴァエズ
 Gustave Vaéz（伊訳版：カリスト・バッシ Calisto Bassi および
 フランチェスコ・ヤンネッティ Francesco Jannetti による2版）
 初演：1840年12月20日、オペラ座（パリ）
 イタリア語版では以下のタイトルでも上演される。
 『グスマンのレオノーラ Leonora di Gusman』
 『ダイラ Daila』 『エルダ Elda』
 自筆譜：トレッカーニ・デリ・アルフィエーリ図書館所蔵（ミラノ）
- 63 - 『アデーリア Adelia』もしくは『弓兵の娘 La Figlia dell' Arciere』 3幕 ドランマ・セーリオ
 台本：フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
 初演：1841年2月11日、アポッロ劇場（ローマ）
 自筆譜：ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵

- 64 - 『リータ Rita』もしくは『たたかれた夫 Le Mari battu』もしくは『二人の男と一人の女 Deux hommes et une femme』
1幕 ファルサ (作曲: 1841年、パリ)
台本: ギュスターヴ・ヴァエズ Gustave Vaëz
初演: 1860年5月7日遺作上演、オペラ・コミック座 (パリ)
自筆譜: ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 65 - 『マリア・パディーリャ Maria Padilla』 3幕 トラジェディア・リリカ [叙情悲劇]
台本: ガエターノ・ロッシ Gaetano Rossi
初演: 1841年12月26日、スカラ座 (ミラノ)
自筆譜: ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 66 - 『シャムニーのリンダ Linda di Chamounix』 3幕 メロドラマ [・セミセーリオ]
台本: ガエターノ・ロッシ Gaetano Rossi
初演: 1842年5月19日、ケルントネルトル劇場 (ウィーン)
自筆譜: ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 67 - 『カテリーナ・コルナーロ Caterina Cornaro』 プロローグと2幕 トラジェディア・リリカ [叙情悲劇]
(作曲: 1842年パリ、および1843年ウィーン)
台本: ジャコモ・サッケーロ Giacomo Sacchero
初演: 1844年1月12日、サン・カルロ劇場 (ナポリ)
自筆譜: ナポリの国立音楽院図書館所蔵
- 68 - 『ドン・パスクワーレ Don Pasquale』 3幕 ドランマ・ブッフオ
台本: ジョヴァンニ・ルッフィーニ Giovanni Ruffini
初演: 1843年1月3日、イタリア歌劇場 (パリ)
自筆譜: ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 69 - 『ローアンのマリア Maria di Rohan』もしくは『シャレー伯爵 Il Conte di Chalais』
3幕 ドランマ・トラージコ
台本: サルヴァトーレ・カンマラーノ Salvatore Cammarano
初演: 1843年6月5日、ケルントネルトル劇場 (ウィーン)
自筆譜: ミラノのリコルディ出版社文書館所蔵
- 70 - 『ポルトガルの王、ドム・セバスティアン Dom Sébastien roi de Portugal』 5幕 ドランマ・セーリオ
台本: ウージェーヌ・スクリーブ Eugène Scribe (伊訳版: ジョヴァンニ・ルッフィーニ Giovanni Ruffini)
初演: 1843年11月13日、オペラ座 (パリ)
自筆譜: パリの国立音楽院図書館所蔵

未発表のもの (未完成作品)

- * - 『アデライデ Adelaide』 メロドラマ・コーミコ [コミック・オペラ]
台本: 不詳
作曲: 1834年頃開始。その後、オペラ『ラ・ファヴォリート』に一部が使われる。
自筆譜: パリの国立音楽院図書館所蔵 (断片のみ)
- * - 『私を忘れないで Ne m'oubliez pas』 3幕 メロドラマ・コーミコ [コミック・オペラ]
台本: ジュール・アンリー・ド・サン=ジョルジュ Jules Henry de Saint-Georges
作曲: 1842年頃開始
自筆譜: パリの国立音楽院図書館所蔵 (断片のみ)
- * - 『婚約者 La Fidanzata』
ファルサと思われるこの作品に関しては、現存する唯一の部分が、オペラ『女流作家と黒い男 La Romanziera e l' uomo nero』のフィナーレに使われているロンドであることが、ジェレミー・コモンズ Jeremy Commons によって証明されている。